

れい明

…森と湯のグリーンシャワーの里…

学級・教室	
女性学級 とき 4月28日(水)10時 ところ 和田公民館 内容 ガイドヘルプの講習 講師 市社会福祉協議会職員	あけぼの学級 とき 5月20日(木) 9時30分 ところ 和田公民館 内容 悪徳商法について 講師 周南西警察署職員

子育てフリートーク とき 5月27日(木)10時 ところ 和田公民館 内容 子育てについて(身長・体重測定) 講師 市保健師	和田レクリエーション大会の結果 3月20日に開催の結果は次のとおりです。参加や協力の皆さん、ご苦労さまでした。 卓球個人の部「優勝」田原健太
---	---

「準優勝」広野史明〔3位〕有井貴久江 卓球団体の部「優勝」Eチーム(山本有紗・藤井昭・田原健太)「準優勝」Bチーム(原田裕貴・有井貴久江・渡辺勝也)〔3位〕Dチーム(濱田沙織・深山宣子・広野史明・北村信子) ニュースポーツ・ファミリーの部「優勝」有吉貴男・長沼俊介・原田真樹「準優勝」渡辺明彦・康平・真司〔3位〕神田浩二・岡智洋・荒木大樹。一般の部「優勝」伊藤裕司・松尾祐輔・津田誠一「準優勝」今澄三恵子・多田晴代・岸本つばみ (敬称略)

【イベント内容】
 釣り大会、魚のつかみ取り、各賞の選出・表彰、高瀬八十八ヶ所巡り、竹の子狩り、竹工作教室、ゲーム、コンニャクづくりの体験会、もちまき大会 など。
 【バザー】
 高瀬茶、高瀬みそ、コンニャク、野菜などの特産品や山菜うどん、たきこみご飯、やまめの塩焼き、綿菓子、焼鳥、フランクフルトなど飲食品類、ガンゼキ、ホーキ、ハガキ、切手などの販売。
 = きんさい、見んさい、食いんさい!! =

◎ 行事 ☆グループ活動の予定 (4月16日～5月15日)

◎ 自治会和田支部総会 16日(金)	☆ 俳句 14日	☆ 健康体操 16・23日、14日
◎ 高瀬の旬をクイーン祭 18日(日)	☆ 囲碁 20・27日、11日	☆ コーラス 26日、10日
◎ 心配ごと相談 20日(火)	☆ 生け花 24日・8日	☆ バン教室 6・13日
◎ 和田の里づくり委員会 27日(火)	☆ ピンポン 17・24日、1・8・15日	☆ NFC 23日、14日
※ 女性学級 28日	☆ アートフラワー 22日	☆ 英語 20・27日、11日
※ 習字 17日、1・15日	☆ 健康体操(ケリナリ) 19日、10日	

地域情報

お世話になりました

前和田支所長・公民館長 田村正俊
支所長・公民館長在任中には地域の皆様方の協力で、無事大任を果たす事ができました。本当にありがとうございます。

思えば、三年前、和田を知らない私が、地域を駆けずり回り行事毎に汗を流し、酒を飲み自然の美しさと怖さを知り、人の優しさに触れ、充実した日々を過ごさせていただきました。心よりお礼を申し上げます。

今後、和田での経験を生かし、市民サービスの向上に努めてまいります。和田地区の発展と皆様方の健康を祈念します。

前和田支所・公民館主査 松田 宝

四月一日から、新南陽勤労青少年ホームへ異動することになりました。昨年、周南市合併と同時に和田支所へ配属され、一年足らずの「マサカ」の異動にシミュックを受け目頭が熱くなりました。私も、高瀬で生まれ育った者として、和田地区の皆様とお別れするのがとても残念です。本当に短い間でしたが、大変お世話になりました。

おつくろ願います

和田警察官駐在署巡査長 田村利彦
同南西警察署地域課機動係 村田 彦
からまいりました。
二十五年あまりの警察人生

で初めての駐在所勤務で、不安と期待でいっぱいです。一生懸命努力する決意です。皆様方の一層のご支援をお願いいたします。

和田支所長・公民館長 小林秀行

四十一歳ぶりにふるさとに帰つてまいりました。昔懐かしいお顔を拝見するたびに暖かいふるさとのぬくもりを実感しているところです。

微力ではありますがお世話になつた皆様方に少しでも恩返しができるかと存じております。どうかよろしく指導をお願いいたします。

和田支所・公民館主査 藤村 誠

このたびの異動で、新南陽ふれあいセンターからまいりました。十五年位前旧新南陽市時代に、農政課勤務を四年半経験し、地域の皆様の暖かみを肌で感じたものでした。

再び地域の皆様との出会いとふれあいを大切に、職務に頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。

郷土にキラリ輝く子 和田小学校

平成十六年度、和田小学校は、一年生十六名を新たにに加え、児童九十七名、教職員十名でスタートしました。ふるさと和田を愛し、主体的に学び、心豊かに生きる力を求める「郷土にキラリ輝く子」の育成をめざします。ふるさと和田のいろいろな人とかかわり、様々な体験をおとし和のすばらしさを実感させたいと考えています。地域の皆様にいるいろとお世話になると思いますが、どうぞ、よろしくお願ひします。

校長 中山澄子
教頭 刀根良典(転入)
1年 河野麻由美
2年 西村孝代
3年 藤本哲雄(転入)
4年 玉野由美子
5年 藤井幸司
6年 湊規子
養護教諭 田中郁子
主事 藤本弓子(転入)

ホタルの里づくりをめぐって

和田中学校

平成十六年度は、生徒数四十二名(一年十八名・二年十一名・三年十三名)でスタートしました。豊かな自然と人情あふれるふるさと和田の一員であることの誇りと自覚を持ち、和田をさらに発展させるために何ができるか考え、和田の地域をホタルがいっぱい飛び交う地にしたいという夢を持ちました。ホタルの時期になると和田に沢山の人がホタルを観にやってくる情景を夢見て、実現するために総合的な学習の時間を活用し、活動を始めて三年目となります。今年こそはホタルの養殖を成功させようとする生徒一同はりきっています。

校長 宮原弘二
教頭 岡田忠雄(転入)

教諭 大田和彦
1年 久楽信吾
2年 林浩司(転入)
3年 杉村眞理子(転入)
3年 窪井雅規
3年 高橋正則
3年 高林美恵
講師 松本信子
養護教諭 松田キミ子(転入)
主事 海野直美(産休代替)



高瀬の西迫上の愛宕社への登り口の畑のそばに「日出」と彫った、高さ一メートルの石が立っています。

むかしむかしの春、千石岳の刈り草山で、毎日野火が出て、ふもとの民家に飛び火して、災厄を受けました。そのころ、山すそに万作という一人者が住んでおり、たまたま失火し、刈り草山に延焼させ、損害を受けた人たちから、万作の仕業と思われ、村を追いやられることになりました。



朝わな無言、出はとす、が村ん、火う、よタレ

一方、亀屋という家では万作を憐れみ密かに酒や食物を与えて慰めました。万作は亀屋の手厚い心づ

くしに感謝し、哀れな旅立ちをしました。その後、野火は絶えず村人は、万作を疑ったことに心を痛めました。村人の中には、万作のおん霊が火をくわえて飛ぶのを見たという話も伝わりました。ところが亀屋だけは、火の粉が降りかかっても自然に消えたといわれています。その後、村人たちは、「日出」石を立て火が出ないよう、毎日朝夕捧んだと言ひ伝えられています。

(参考文献)「しんなんようぶらり探訪」協力・郷土史家、原田義明さん

和田の人の動き

(3月1日現在)

世帯数	702	世帯(-2)
総人口	1,815	人(-4)
男	849	人(±0)
女	966	人(-4)
65歳以上	642	人
	()	内は前月比

おくりやみ申し上げます。
松野 早子様(3/2 打木野)
下山 マサノ様(3/11 田戸)

